

## PRESS RELEASE

2023年7月4日  
株式会社インターネットイニシアティブ

### IIJ、バックボーンネットワークの対外接続に400ギガビットイーサネットを導入

-- JPNAP 東京との対外接続に、国内で初めて400ギガビットイーサネットを採用 --

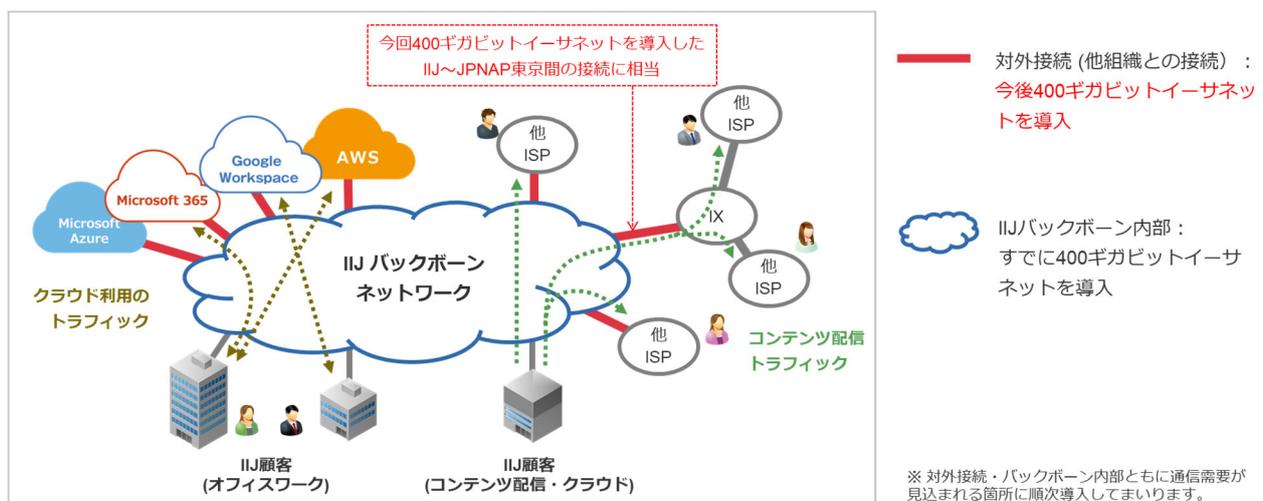
当社は、自社のバックボーンネットワークと外部組織のネットワークを接続する通信方式として、現在普及している100ギガビットイーサネットの4倍の情報を通信できる400ギガビットイーサネットを採用することとし、このほどインターネットマルチフィード株式会社が運用するアジア最大のインターネット接続拠点(IX※1)である「JPNAP」と接続し、運用を開始いたしました。

※1 インターネットエクスチェンジ(IX:Internet Exchange)：ISP(Internet Services Provider)などのインターネット通信事業者が接続し、相互にトラフィックを交換するポイントです。JPNAPは、インターネットマルチフィード株式会社が提供するIXサービスです。

#### 導入の背景

あらゆるものがインターネットに接続される現在、インターネット上を流れる通信量が急拡大しています。総務省の試算※2によれば、2021年11月から2022年11月の間に日本のインターネットトラフィックは23.7%増という急成長を遂げており、今後もこの傾向が続くと考えられます。

当社は、こうしたトラフィックの急増に応えるために、国内外の自社拠点を結ぶIIJバックボーンネットワークの増強・拡充を続けており、その一環として現在の100ギガビットイーサネットに加え400ギガビットイーサネットの利用を開始しています。



#### 【 IIJ バックボーンネットワークのイメージ 】

一方、これらのトラフィックはIIJバックボーンネットワークを経由して外部の通信事業者やクラウド事業者にも流れるものであるため、IIJバックボーンネットワークと外部組織との間の対外接続も強化する必要があります。しかし、400ギガビットイーサネットは、2017年に標準化された後、2019年以降複数の通信機

器メーカーから 400 ギガビットインタフェースを実装した製品が登場して、組織内での採用実績はあるものの、別々のメーカーの機器間での接続実績が乏しいことなどから、これまで異なる組織間の対外接続には用いられていませんでした。

当社は、2022 年 4 月にインターネットマルチフィード株式会社、NTT コミュニケーションズ株式会社と共同で「400 ギガビットイーサネットを用いた IX 相互接続実証実験(※3)」を実施するなど、異なる組織間での 400 ギガビットイーサネットを用いた対外接続についての実証実験を続け、商用環境での安定運用のための知見を積んでまいりました。

こうした実証実験の結果を踏まえ、当社はこのほど、IIJ バックボーンネットワークと外部事業者であるインターネットマルチフィード株式会社の IX サービス、JPNAP との対外接続に、国内では初めて 400 ギガビットイーサネットを正式導入し、運用を開始するに至ったものです。

※2 総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算」

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban04\\_02000210.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban04_02000210.html)

※3 2022 年 4 月 19 日付報道発表資料「アジア初の 400 ギガビットイーサネットを用いた IX 相互接続実証実験に成功」

<https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2022/0419.html>

IIJ は今後も、すでに運用を開始した JPNAP との接続を皮切りに、他組織とのネットワークにも順次 400 ギガビットイーサネットを導入し、さらなるインターネットトラフィックの拡大に備えてまいります。

#### 報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp)

URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。